産業クラスター計画

### 九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ NO ECOLOGY.NO BUSINESS



# K一RIP情報

KYUSHU RECYCLE AND ENVIRONMENTAL INDUSTRY PLAZA 2007# vol.4

(財)九州産業技術センター

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP) 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-24 TEL 092-474-0042 FAX 092-472-6609 URL http://www.k-rip.gr.jp

### 『九州·大連市環境ビジネス商談ミッション団』を 中国大連市に派遣

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)では、今年度から3カ年の予定でジェトロのRIT事業に採択され、ジェトロの支援を受けて中国・大連市の環境関連企業や研究機関の業界団体である大連市環境保護産業協会との環境産業交流事業を実施しています。

この取組の中で、2008年3月4日(火)~7日(金)に「九州・大連市環境ビジネスミッション」を派遣いたしました。今回のミッションの成果を高めるため、2月5日に「中国環境セミナー」を開催し、セミナーの中で、昨年12月に実施した事前調査の報告がおこなわれて、参加への呼び掛けを行うと共に、中国企業の現地情報について報告がありました。

又、ミッション派遣では、5日に大連市企業との商談会を行い95件の商談を受けるなど大盛況でありました。マスメディアは今回のミッションに注目し、6日付けの地元新聞に大きく掲載されました。日本側では大手新聞社が同行取材をしました。

### ミッション概要

- 1. 日 程: 平成20年3月4日(火)~7日(金)
- 2. 交流相手: 大連市環境保護産業協会、大連市環境保護局
- 3.参加者:民間企業・団体からの参加者数 19社、総勢31名
- 4. 行程概要: 4日 大連事業等ブリーフィング(於、ジェトロ大連、環境保護局・環保協会表敬)
  - 5日 九州·大連環境ビジネスセミナー 現地企業との商談会 交流会
  - 6日 現地企業視察

(泉水汚水処理工場、東海熱電汚水工場、小野田セメント廃気処理施設)

- 5. ミッション個別内容
  - ①JETRO大連による現地事情等ブリーフィング
    - ◆今回のミッションの現地カウンターパートである大連市環境保護局・大連市環境保護産業協会への表敬を兼ね、JETRO大連にて現地事業等のブリーフィングを実施した。
    - ◆■日 時:3月4日 15:30~17:30
      - ■場 所:大連森ビル会議室

### 【大連側参加者】

- ◆·大連市環境保護局·科技処華秀青処長
- ◆·大連市環境保護産業協会李秘書長 ·JETRO大連 藤原所長、石川部長
- ◆環保局・華処長より最近の大連市の環境 対応につき説明(国・省・市を挙げての環 境対応が喫緊の課題)特に大気、水質等に つき、九州側の協力を依頼。



1

### ②九州・大連環境ビジネスセミナー

- ◆幅広く、中国企業及び行政等関係者に対してK-RIP及びミッション参加企業の概要をPRするため、 OPEN形式の環境ビジネスセミナーを開催した。
- ◆セミナー参加者数は当初予定を大幅に上回り100名を超え、九州の環境技術に対する中国企業の 関心の高さが伺われた。
- ◆今後、エリアを拡大しつつ、更に九州·中国間のビジネス交流を進める上で、相互の認識が深まった。
- ■日 時:3月5日 9:30~12:00
- ■場 所:大連シャングリラホテル

### ③九州・大連環境ビジネス商談会

- ◆九州企業·中国企業間の具体的なビジネス商談の場を提供するため、個別商談会を開催した。
- ◆事前の「在大連現地企業ニーズ調査」で調べた中国 企業の情報を元に、九州企業が商談先を指定して 登録。また、九州側参加企業の紹介資料を基に中 国企業からもオファーを受け、個別のブースで具 体的な商談を行った。
- ■日 時:3月5日 13:30~17:30
- ■場 所:大連シャングリラホテル
- ◆中国側からの個別商談希望の申し出が次々にあり調整に苦慮する程。 結果、95件となる個別商談が行われ、会場は熱気に包まれた。

### ④大連企業訪問:視察

- ◆大連における環境関連施設の現状を確認するため、市内廃水処理場等を視察した。
- ■日 時:3月6日9:00~17:00





### 中国環境ビジネスセミナー

日 時:平成20年2月5日(火) 13:00~17:00

会 場:ホテルセントラーザ博多3F「橘」(福岡市博多区博多駅中央街4-23)

催:九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)

参加人員:110名

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)では、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)の支援を受けて、今年度から3年間、中国・大連市環境保護産業協会との環境産業交流事業を実施いたします。

この事業の中で、平成20年3月に「九州・大連市環境ビジネス商談ミッション団」の派遣を予定しておりますが、この商談会の成果を高めるために、中国の環境事情や中国ビジネスにおける留意点等について第一人者である(財)地球環境戦略研究機関北京事務所長小柳秀明氏と麗澤大学中国語学科(専門:商法、国際取引法、中国法)教授梶田幸雄氏の両氏を招聘してセミナーを開催いたしました。

また、K-RIPの対中国環境ビジネス支援に関して、昨年12月に実施した大連市周辺の環境技術ニーズ調査の報告会を併せて行いました。



### プログラム

13:00~13:10 主催者挨拶1

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ会長 麻生 泰氏

13:10~13:20 主催者挨拶2

独立行政法人日本貿易振興機構福岡事務所長 田代 重光氏

13:20~13:30 来賓挨拶

九州経済産業局資源エネルギー環境部長 廣田 正典氏

### 第1部 講演会

13:30~14:30 講演1 「中国の環境事情について」

(財)地球環境戦略研究機関北京事務所長 小柳 秀明氏

14:30~15:30 講演2「中国進出企業のトラブル事例と解決法」

麗澤大学中国語学科(専門:商法、国際取引法、中国法)

教授 梶田 幸雄氏

### 第2部 アジアビジネス支援事業説明会

15:50~16:10 「K-RIPの取組について」

K-RIPクラスターマネージャー 飯塚 誠氏

16:10~16:30 「大連市環境ニーズ基礎調査報告」

日鉄環境エンジニアリング(株)環境テクノ事業本部長 佐倉 克彦氏

16:30~16:50 「大連市環境ニーズ出張調査報告」

九州テクノリサーチ 佐藤 明史氏



(麻生会長の講話)



〔(財)地球環境戦略研究機関北京事務所長小柳秀明氏〕

### 地球環境フォーラム in 九州

~地球環境保全と持続可能な経済社会を目指して~

地球環境問題を解決していくためには、社会システムを支える「行政」「市民」「NPO」「産業界」がそれぞれの果たす役割をしっかり認識した上で、協力関係を構築して行く必要があります。

こうした認識に立ち、地球環境保全への具体的取り組みにおける知の連鎖によるエコイノベーションを巻き起こす契機とするため「地球環境フォーラムin九州」を開催し大分県内各界から200名を超える参加があり盛況でした。

主催者代表のK-RIP情報部会長の西村正幸(九州電力(株)環境部長)と来賓の谷重男九州経済産業局長が「行政、市民、NPO、産業界が協力し、環境分野でのイノベーション(技術革新)を」と挨拶をされました。二つの基調講演があり、大分県出身の経済産業研究所の佐藤樹一郎副所長は地域活性化のポイントとして「世界のイノベーションセンター形成」「工場誘致と大企業・中小企業の連携」などを挙げ、事例を紹介されました。NPO法人「アジア起業家村推進機構」の中村和雄専務理事は中国の環境産業市場について解説され、「アジアの人材を誘致・育成して産業の活性化を」と呼び掛けられました。このあと、「NPO・行政」「産業界」の分科会があり、事例の報告がありました。K-RIP会員で(株)藤島(大分市)の藤島正夫専務は「ソーラー付LED街路灯」の新製品について発表し、従来の照明に比べ、光書や資源の無駄を減らした製品の特徴を説明されました。

日 時:平成20年2月27日(水) 13:00~19:30

会 場:大分全日空ホテルオアシスタワー(大分県大分市高砂町2番48号)

主 催:独立行政法人 経済産業研究所、九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ、

大分県、大分合同新聞社

後 援:九州経済産業局、大分県地球温暖化防止活動推進センター

参加人員:220名

### Program

### 13:00~13:20 開会

主催者挨拶 九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ 情報部会長 西村正幸氏(九州電力㈱環境部長) 来賓挨拶 九州経済産業局長 谷 重男氏

#### 13:20~13:50 基調講演1(会場:5階 孔雀の間)

(独)経済産業研究所副所長 佐藤 樹一郎氏 『イノベーションによる地域経済の活性化』



#### (プロフィール)

1980年東京大学経済学部卒業後通商産業省入省。1995年在サン・フランシスコ日本国総領事館領事、1998年基礎産業局アルコール課長、2000年近畿通商産業局総務企画部長、2002年資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー対策課長、2004年産業技術環境局産業技術政策課長、2005年(独)中小企業基盤整備機構総務部長、2006年中部経済産業局長等を経て2007年より現職。

### 13:55~14:55 基調講演2(会場:5階 孔雀の間)

NPO法人アジア起業家村推進機構専務理事/日本ヒューマニクス(株) 代表取締役 中村 和雄氏 『地球環境と企業経営~貢献して稼ぐアジア環境産業新時代"九州をアジア環境産業のメッカに!"~』



#### (プロフィール)

1952年生まれ。平成3年ベンチャービジネスサポート専門会社として日本ヒューマニクス (株)を設立。ベンチャー企業の立ち上げや成長期における「人・物・金・情報」のトータルコンサルタントとして活躍し、数々の株式上場会社を育成。また、アジアから起業家を募り、京浜臨海部の工業遊休地を活用してベンチャー企業を育てる「アジア起業家村」構想の仕掛け人。「日本のコンサルタント101人」(東洋経済新報社版)に選定されるなど、ベンチャー業界や行政関係、上海市政府や大学要人などに幅広い人脈を持つ。

### 15:15~18:05 フォーラム

第1分科会 ~NPO、行政等からの取り組み事例発表~会場:5階孔雀の間①

[導入部] 15:15~15:25 大分県地球温暖化防止活動推進センター長 三浦 逸朗氏 [発 表]

(1)15:30~15:55 市民からの仕事おこし

〜ミニ水力発電普及プロジェクトと菜の花エコプロジェクト〜 NPO地域づくり工房 代表理事 傘木 宏夫氏

NPO地域づくり工房 代表

(2)16:00~16:25 市民出資による風力発電事業

NPO法人北海道グリーンファンド 事務局長 鈴木 亨氏

(3) 16:30~16:55 市民主導による生ゴミ堆肥化の取り組み

NPO法人伊万里はちがめプラン 理事長 福田 俊明氏

(4)17:00~17:25 高畠町の笑エネキャンペーン

山形県高畠町エコタウン推進室 環境推進主査 村上奈美子氏

(5) 17:30~18:00 発表事例に対し会場との質疑応答、ディスカッション

コーディネーター: 大分県地球温暖化防止活動推進センター

センター長 三浦 逸朗氏

### 第2分科会

[発表]※各発表終了後に5分間程度で会場との質疑応答。

(1)15:15~15:40 [ソーラー付LED街路灯]の新製品発売について

(株)藤島 専務取締役 藤島 正夫氏

(2)15:50~16:15 輻射式冷暖房装置ハイブリッドサーモシステム「エコウィン」

(株)エコファクトリー 代表取締役社長 村上 尊宣氏

(3)16:25~16:50 雨傘ふき取り器「すいとるクリーン」

(有)日ノ出 代表取締役 白石 芳則氏

(4) 17:00~17:25 食品残渣地域内循環システム「メリーズシステム」事業

楽しい(株) 代表取締役 松尾 康志氏

(5)17:35~18:00 使用済み紙おむつのリサイクル

トータルケア・システム(株) 代表取締役 長 武志氏





〔(株)藤島 専務取締役 藤島正夫氏〕

### 産業廃棄物排出事業者と 処理・リサイクル事業者とのビジネス交流会

産業廃棄物処理の現場では、時代の変化に伴い再資源化可能な産業廃棄物の海外流出や更なる再資源化の拡大の必要性など、循環型経済社会の実現に向けた多くの課題を抱えているのが現状です。

これらの課題を解決するために、廃棄物排出事業者と処理・リサイクル事業者間のビジネスマッチングによる問題意識の共有と新たな共同事業展開を促進する必要があると考え、個別相談会を含めて、交流会を開催いたしました。

講演会では日本の産業廃棄物業界のトップである(株)市川環境エンジニアリング代表取締役社長石井邦夫氏と(株)タケエイ代表取締役社長三本守氏の二人に自社の取り組みをご講演していただき、今後の産業廃棄物処理の方向性を示す一助となったものと思います。

分科会では、最近特に注目されているレアメタルリサイクルの事例を発表していただき、新事業として取り組んで行くための指針を示すことが出来たものと思います。

個別相談会では自社の問題解決や新規の取り組みなど販路拡大への足がかりを掴むきっかけになった。

主 催:(財)九州産業技術センター(九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)) (社)全国産業廃棄物連合会九州地域協議会

後 援:環境省九州地方環境事務所、経済産業省九州経済産業局、(社)九州経済連合会、北九州市

開催日時:平成20年2月18日(月)13:00~18:30

会 場:リーガロイヤルホテル小倉 4階「ロイヤルホール」「ダイヤモンド」

参加人員:講演会220名、分科会120名、個別相談会50~60名

### プログラム

13:00~13:50

【主催者挨拶】 K-RIP需要創出部会長 吉田 哲雄氏((株)ワイビーエム 代表取締役会長)

【来賓挨拶】 九州経済産業局 資源エネルギー環境部長 廣田 正典氏

【基調講演】 『循環型社会形成推進基本計画とその改定について』

福岡大学法学部教授 浅野 直人氏(環境省中央環境審議会委員)

13:50~15:25

### 【特別講演】

『産業廃棄物処理業の現状と将来展望~循環型経済社会の構築に向けて~』

- (社)全国産業廃棄物連合会副会長 石井邦夫氏((株)市川環境エンジニアリング代表取締役社長)
- (社)全国産業廃棄物連合会建設廃棄物部会長 三本守氏((株)タケエイ 代表取締役社長)

15:30~17:30

### 【廃棄物処理テーマ別事例発表】

◆レアメタルリサイクル分野

「レアメタルリサイクルの事例①」

(独)産業技術総合研究所環境管理技術研究部門 リサイクル基盤技術研究グループ 西須 佳宏氏 「レアメタルリサイクルの事例②」

アサヒプリテック株式会社取締役執行役員 赤羽 昇氏

◆有機系廃棄物リサイクル分野

「食品廃棄物系バイオマスの堆肥化」有限会社御笠環境サービス社長 吉嗣雅一氏 「廃食油由来のBDF化」西田商運株式会社社長 西田眞壽美氏

15:30~17:30

#### 【個別相談会】

会場内に九州内の処理・リサイクル業者約50社程度の相談テーブルを配置し、随時排出事業者からの 個別相談を受ける。

### 【パネルセッション】

商談会場に処理事業者紹介パネル等展示

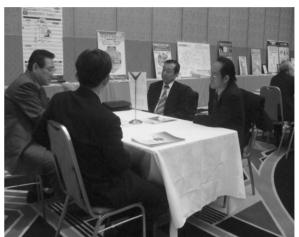


〔講演風景〕





〔產業技術総合研究所 西須 佳宏氏〕



〔相談会場風景〕

### 九州環境ビジネスパートナー交流会 in 福岡

~京都議定書発効後の展開及び洞爺湖サミットに向けて~

今年は、洞爺湖サミットの開催年にあたり、循環型社会形成のため地球温暖化防止・省エネルギー・環境リサイクル等の分野を軸にした企業が今後どのように取り組んでいくべきかについて中央の取り組み方や法律面からの環境に対する施策などを専門家の方々からご講演をいただきました。また九州地域で環境に取り組んでいる企業の取り組みの実態について発表をしていただき、商品化には製品開発、マーケティング、出口対策等、多方面からの知恵やノウハウの活用の必要性、及び、ビジネスパートナーとして連携を図っていくことが重要であるということを喚起させることができました。

日 時:平成20年1月29日(火) 13:00~19:00

会 場:博多都ホテル3階「孔雀の間」(福岡市博多区博多駅東2丁目1番1号)

主 催:財団法人九州産業技術センター、九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)

後 援:九州経済産業局、九州グリーン購入ネットワーク・福岡、(財)北九州産業学術推進機構、 (株)みなまた環境テクノセンター、(財)長崎県産業振興財団、(財)宮崎県産業支援財団、

(財)奄美市農業研究センター

参加人員:130名

### プログラム

13:00~13:20 開会

主催者挨拶 九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ 需要創出部会長 (株)ワイビーエム 代表取締役会長 吉田 哲雄氏

来賓挨拶 九州経済産業局 資源エネルギー環境部次長 古賀 博三氏

13:20~14:00 特別講演1(会場:3階 孔雀の間)

『洞爺湖サミットに向けたグリーン購入ネットワーク(GPN)の取組』 グリーン購入ネットワーク(GPN) 専務理事・事務局長 佐藤 博之氏

14:00~14:40 特別講演2(会場:3階 孔雀の間)

『京都議定書とその関連ビジネスの展望』

(株)三菱総合研究所 環境・エネルギー研究本部 地球温暖化対策研究グループリーダー 西村 邦幸氏 14:50~17:10 九州地域の環境事業者の発表(会場:3階 孔雀の間)

### 「発表]

(1)14:50~15:10 循環型社会に向けた小郡市民の挑戦

~1本の空き缶回収から生まれた緑のリサイクル~

(有)共栄資源管理センター小郡 代表取締役社長 野崎 千尋氏

(2)15:10~15:30 バイオプラザ式「生ゴミコンポスト化システム」について

(株)熊本清掃社 常務取締役 村平 光士郎氏

(3)15:30~15:50 使えば使うほど海をきれいにするエコ洗剤について

(有)スットゴレ アイランドソウル 代表 野崎 昇礼氏

(4)15:50~16:10 めっき廃液からの有価物回収

吉玉精鍍株式会社 主任 真 隆志氏

(5)16:10~16:30 水環境改善で国際貢献~自然浄化法水処理技術の海外展開~

チッソ環境エンジニアリング(株) 課長 黒木 学氏

(6) 16:30~16:50 吸着技術の化学装置、環境装置への適用

吸着技術工業(株) 代表取締役社長 泉 順氏

(7)16:50~17:10 生ゴミリサイクル新展開~企業とNPOのコラボの可能性~

NPO法人 里山を考える会 代表理事 関 宣昭氏



〔グリーン購入ネットワーク専務理事 佐藤 博之氏〕



〔(株)熊本清掃社常務取締役 村平 光士郎氏〕







〔チッソ環境エンジニアリング(株)課長 黒木 学氏〕

### 九州環境クラスター大学 長崎若手環境人材育成シンポジウム

環境産業の発展を支える人材を継続的に輩出していくことは必要不可欠であり、特に若き次世代の環境人材の育成は重要だと認識しています。今回は大学と環境分野の企業経営者を講師として「若き世代の環境人材」の育成を目指し、「九州環境クラスター大学 長崎若手環境人材育成シンポジウム」を長崎県において開催いたしました。受講生の中には、現役大学生や若き企業人も見られ、大学生は就職先の選択肢として、若い企業人は会社の中での自分の目標について考える機会になりました。

日 時:2月15日(金)15:00~19:30(場所:長崎大学総合教育研究棟)

16日(土) 9:30~16:30(場所:県内企業等視察)

会 場:長崎大学文教キャンパス 総合教育研究棟(長崎市文教町1-14)

主 催:(財)九州産業技術センター(九州地域環境・リサイクル産業プラザ)

共 催:長崎大学共同研究交流センター

(財)長崎県産業振興財団(長崎環境・エネルギー産業ネットワーク)

参加者:46名

### プログラム

- ○2月15日(金)15:00~19:30 長崎若手環境人材育成シンポジウム
  - (1) 開会挨拶 長崎環境・エネルギー産業ネットワーク会長 坂井 俊之 氏
  - (2)講演
    - コーディネーター:長崎大学環境科学部教授 武政 剛弘 氏
    - ①15:10~15:40(講演20分+質問10分)

「長崎で観測された越境汚染」 長崎県環境保健研究センター 専門研究員 森 淳子 氏

@15:40~16:10

「廃棄物処理・リサイクルの現状」 (株)中央環境 常務取締役 上田 恭久 氏

316:20~16:50

「環境共生技術への取り組み」 (株)PAL構造 代表取締役社長 菅 洋一 氏

 $416:50\sim17:20$ 

「地域活性化を目指す大学と企業の教育連携」 長崎大学工学部教授 石松 隆和 氏

- ⑤17:20~17:50 自由討論(司会:武政コーディネータ)
- (3)懇親会 時間:18:00~19:30、場所:長崎大学 学生食堂2F

### ○ 2月16日(土)9:30~16:30企業等の現場視察(大村市周辺)

参加者:20名

9:30 長崎発(県庁裏門集合)

10:15~11:00 (株)真人 廃石膏マテリアルリサイクルの現場 11:30~14:30 とりかぶと生活科学研究所の見学および昼食

14:30~15:30 諫早干拓地見学

16:30 長崎着



〔講演風景〕



〔石松隆和教授の講演〕



〔工場視察 (株)真人〕



〔とりかぶと生活科学研究所の見学〕

### エコ塾の開催

第8回から第10回までの講演概要をお知らせいたします。エコ塾は昨年6月から開催され、平成19年度は第10回を持ちまして、一旦終了し、平成20年度は第11回を4月9日(水)に開催いたします。1年間ご講演して頂きました発表者及び参加された方々に感謝申し上げます。

平成20年度も引き続き、ご協力とご参加をお願いいたします。

### 第8回エコ塾

【開催日時】 平成20年1月9日(水)

講演会17:00~18:00 交流会18:00~19:30

【開催場所】 講演会 九州経済産業局 第二·三会議室(福岡合同庁舎6階)

交流会 地下食堂

参加者:43名

【第一プレゼンテーション】

発表者:

九州食品リサイクル協議会 会長 吉嗣雅一氏 発表テーマ:

食品廃棄物系バイオマスの利活用と展望

### プレゼン概要:

- ①バイオマス利活用の必要性について
- ②食品廃棄物系バイオマス利活用の 現状と展望について

【第二プレゼンテーション】

#### 発表者:

NPO法人 循環生活研究所事務局長 平 由以子氏 発表テーマ:

「堆肥でつながるコミュニティ」

#### プレゼン概要:

「いい土が欲しい」主婦の知恵と工夫でできた実践ノ ウハウが進化して、全国に広がるコンポストコミュ ニティ事例紹介。NPO活動のミッションや運営の 苦労、連携具合などの裏話。



[吉嗣氏の発表]



[平氏の発表]

### 第9回エコ塾

【開催日時】 平成20年2月6日(水)

講演会17:00~18:00 交流会18:00~19:30

【開催場所】 講演会 九州経済産業局 第二:三会議室

交流会 福岡合同庁舎 地下 喫茶店

参加者:35名

【第一プレゼンテーション】

発表者:

NPO法人 エコ・テクル 理事 梅田 佳暉氏 発表テーマ:

NPOが薦める廃棄物トレーサビリティシステム ~国の電子マニフェストシステム

#### プレゼン概要:

福岡発!!今、業界からも注目、IT(ICタグ・携帯 電話·GPSシステム)を活用した最新の廃棄物トレ ーサビリィをご案内します。その他にも既に I Cタ

是非、ニッチな業界での産・学・官でのビジネスモデルは必見です。

グを利用したシステムを開発し、海外(中国)に輸出される原料で運用中です。



### 【第二プレゼンテーション】

発表者:

株式会社ネクファー 会長 石崎 文彬氏(九州大学名誉教授)

発表テーマ:

サゴヤシを原料にするバイオエタノールの工業化

プレゼン概要:

株式会社ネクファーは、マレーシア政府の全額助成をうけて、サゴヤシからバイオエタノールを工業生産するための実証試験設備(パイロットプラント)を建設することになりました。



〔工二塾 風景〕



[石崎氏の発表]

### 第10回工コ塾

【開催日時】 平成20年3月5日(水)

講演会17:00~18:00 交流会18:00~19:30

【開催場所】 講演会 九州経済産業局 第二·三会議室

交流会 福岡合同庁舎 新館 喫茶店ポンテディエーチ

参加者:31名

【第一プレゼンテーション】

発表者:NPO法人空き缶基金 理事長 河野 捷紀氏

発表テーマ: ほんの少しの便利さよりも ほんの少しの地球への優しさを!

プレゼン概要:空き缶(全てスチール缶アルミ缶、業務用除く)を多くの方々、企業、団体から収集、その一部を基金(4円/kg)として提供する。北九州市(今年から福岡市)の環境教育活動等資金として県民の健全な環境活動の支援を行う。

### 【第二プレゼンテーション】

発表者:(有)西日本環境サポート 代表取締役 城崎 榮一氏

発表テーマ:機密書類非焼却処理システム

プレゼン概要:機密書類の発生は、全国で260万トンと推計され、その95%が焼却処分されCO2発生の 元凶ともなっている。機密ろうえい防止、CO2の削減、社会コストの削減かつ事業者利益の創出を同 時に達成させるシステムを提案します。



〔河野氏の発表〕



〔城﨑氏の発表〕

# 19年度K-RIPプロジェクト採択者報告会

昨年6月にK-RIPプロジェクトに採択された企業の報告会を行いました。1年にわたり検討した結果を報告し、発表者から事業および販売拡大に向けて、さらに努力していくという力強い発言がありました。 また、平成20年度K-RIPプロジェクト募集要項について協議を行いました。

1. 開催日: 3月11日(火) 13時~17時2. 場 所: 九州経済産業局 6階コンソ室

### 発表スケジュール

時間	テーマ・発表者
13:00~13:10	議事次第説明·開会挨拶
13:10~13:25	「使用済み液晶パネルからのインジウムの回収技術の開発」 佐賀大学 川喜田英孝氏
13:25~13:40	質疑応答·発表者交代
13:40~13:55	「蘇州·無錫環境測定·分析センター」事業化調査 〜環境測定·分析及び技術者育成事業〜 環境テクノス株式会社 鶴田 直氏
13:55~14:10	質疑応答·発表者交代
14:10~14:25	「リサイクル材料を利用した漆喰植木鉢の製品化と海外販売」 田川産業株式会社 尾池 哲朗氏
14:25~14:35	質 疑 応 答
14:35~14:40	休憩
14:40~14:55	大型TV(プラズマ·液晶)の「リターナブル包装」開発とその事業化 有限会社エコ・パッケージシステム 渡邊 隆久氏
14:55~15:10	質疑応答·発表者交代
15:10~15:25	「環境調和型製品の販路拡大プロジェクト」 有限会社フリーマム 青松 瑛子氏
15:25~15:40	質疑応答·発表者交代
15:40~15:55	「屑絹活用の非加水分解シルクプロテクトクリームの販売戦略構築」 株式会社アマミファッション研究所 原 暁穂氏
15:55~16:05	質 疑 応 答

## K-RIP事業の紹介

### 平成20年度K-RIPプロジェクトを募集

K-RIPプロジェクトは、K-RIP会員が実施する環境・リサイクル産業の育成・振興に係る事業への支援を行うものです。会員の皆さま奮ってご応募ください。

1. 応募期間 平成20年3月15日(土)~4月14日(月)

2. 助成金の範囲 一定の活動経費として総額450万円、採択数は5件程度

3. スケジュール 応募プロジェクトが多数の場合は、書類選考を行い、書類選考を通過したプロジェクト応募者は、4月25日(金)に開催予定の応募者プレゼンテーションを行っていただきます。プレゼンテーション内容等を参考に、採択者を決定します。

\*応募方法等詳細は、「平成20年度K-RIPプロジェクト募集要項」若しくは、K-RIPホームページの「K-RIPプロジェクト」をご参照ください。不明な点はK-RIP事務局までお問い合わせください。

### 平成20年度K-RIP総会 開催のご案内

1. 日時 平成20年6月13日(金)14:00~19:00

 場所 JALリゾート シーホークホテル福岡 福岡市中央区地行浜2-2-3 TELO92-844-7890

3. スケジュール

14:00~15:00 K-RIP役員会 15:10~16:10 K-RIP総会 16:20~17:20 記念講演 17:40~19:00 親睦交流会

### 編集後記

今年は4年に一度のオリンピックの年であります。同時に閏年でもあります。なぜ、2月に1日足したのでしょうか? 4月でも6月でもいつでもよさそうなものですが。それは今の暦の成り立ちにあるらしい。いまの暦は太陽暦でローマ時代に大体の姿が整いました。ただしローマ時代の暦は3月から1年が始まっていた為、2月は年末でした。

誕生日は習慣的には生まれた日を誕生日として、誕生日に歳をとるように思われていますが、法律上は生まれた日の前日の終了をもって1つ歳を重ねることになるそうです。従って、閏年の2月29日生まれの人は、2月28日の終了をもって満1歳とか満2歳とかになります。

ということで日常習慣的になっていることにも、法律上で明確に規定されているのですね。全然知りませんでした。なお、"法律"とは、"年齢計算関する法律"と "民法" が関係しています。

### [Kyushu Recycle and Environmental Industry Plaza] (K-RIP)

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP) 事務局



〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-24 (脚九州産業技術センター内

TEL 092 - 474 - 0042 FAX 092 - 472 - 6609 URL http://www.k-rip.gr.jp/ e-mail info@k-rip.gr.jp





